

写真4 セントジョン川、左側が大西洋



写真1



### ストーン・ハンマー ジオパークの紹介

セント・ジョン川（写真1）をまたいで大きな橋がありました。

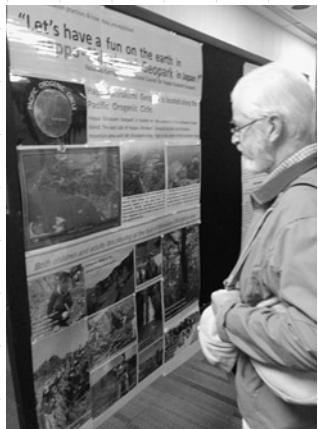


図 ストーン・ハンマージオパーク

写真2 口頭発表



写真3 ポスター発表



もう一つの見どころはこの川の流れ方にあります。川の流れが一日に何回か逆に流れるのです。

### 不思議な流れ リバース・フォール

大西洋へ流れている様子で、写真1は流れが変わることの様子です。米代川の流れもゆるやかですが、しぶきを上げて上流に水が流れるということはありませんね。

つまり、大昔にアフリカ大陸と北アメリカ大陸が衝突してできた境目がこのストーン・ハンマージオパークで見られる、という事でした。従つてこの橋は両大陸を結んでいるのですよ、と言つていたのです。

前に二つの大陸が衝突したと考えられていました。

一方、海水は月齢によつて海面が一部であるそうです。また、橋の左側の地層は古代の北アメリカ大陸の一部で、今から四億三千五百万年

北アメリカ大陸の大西洋側にあるセント・ジョン市（カナダ）で今年九月十九日から二十二日まで標記の大会が開催されました。

大会では口頭発表（写真2）を私が、ポスター発表（写真3）を神垣氏が行いました。これらの内容は次号とそれ以降に紹介します。

の橋が大昔のアフリカ大陸と北アメリカ大陸を結んでいる架け橋です。」

この橋は図中⑥⑦の地点で、最も川幅がせまい場所にあります。図の下方は広大な大西洋、そして、上方には奥深く細長い湖が連なっています。

一方、海水は月齢によつて海面が下がつたり上つたりします。その差が大きな時で、なんと十メートルにもなると言うのです。

ストーン・ハンマージオパーク地域の地形をみると、白神山地とは全く様子が違ひ、本当に平らです。だから河底もなだらかで、真瀬川のように急な流れをしていません。

こうしたことから、満潮の時は大西洋から内陸部の湖に流れ込み、干潮時には反対に湖から大西洋に流れます。写真4は、湖から大西洋へ流れている様子で、写真1は流れが変わることの様子です。米代川の流れもゆるやかですが、しぶきを上げて上流に水が流れるということはありませんね。

### 八峰白神ジオパーク推進協議会

会長 工藤英美

〒018-2612  
秋田県山本郡八峰町八森字ノケソリ116  
TEL 0185-78-2427  
旧岩館小学校内